

平成 16 年（2004 年）9 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書（1 日目）

平成 16 年 9 月 6 日（月）

割当時間（答弁を除く）

市 民 の 会 40 分
市民・社社ネット 35 分
公 明 党 30 分

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	永 山 盛 廣 (市民の会)	1 那覇市長選 について	那覇市長選の出馬表明について (1) 市長選挙の投票日が 2 カ月後の 11 月 14 日 に決定した。翁長市長は、一期 4 年間の施政 を自身でどのように総括するか伺う (2) 多くの公約を掲げて、一期目の当選を勝ち 得たが、公約の達成状況は自身でどのように 評価しているか (3) 一期 4 年間の実績を自己採点すると何点 ぐらいか (4) 国の三位一体改革に象徴されるように、地 方行財政を取り巻く環境が激変し、新たな課 題も多く発生している 今後の行財政運営のかじ取りは従来にも まして、ますます困難になることが予想され るが、これらの課題に立ち向かい、さらに那 覇市政を発展させる役割が担えるのは、翁長 那覇市長しかいないと思うが、二期目の再選 に向け、市長選挙への出馬の意思はどうか伺 う
		2 基地問題に ついて	沖縄国際大学への C H 53 D ヘリの墜落事故に ついて (1) 去る 8 月 13 日、アメリカ海兵隊所属の大 型ヘリコプターが、沖縄大構内へ墜落する事 故が発生した。人命への被害がなかったとはい え、一歩間違えば大惨事につながる恐れがあ った 市街地の真ん中にある普天間基地の危険 性は、かねてから指摘されていたことだが、 市長は今回の事故について、どんな見解を持 っているか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 普天間基地の名護市沖への移設作業が遅々として進まず、今後、順調に行っても十数年はかかると言われている 市長は、これまでSACO合意を着実に推進することが、早期返還へのベターな選択である旨の答弁をしてきたが、現在も、このような考えに変わりはないか (3) 墜落現場は、基地の外であるにも関わらずアメリカ軍が封鎖し、警察や大学関係者まで立ち入りが拒否されたが、このような事態に対し、市長はどんな考えを持っているか (4) 普天間基地については、一部から、嘉手納基地への統合論や5年以内の全面返還論などがあるが、これらについて、市長はどう考えるか (5) 市長主催による「日米地位協定の改定を求める市民大会」を開催する考えはないか
		3 中心市街地の活性化について	国際通りの観光振興地域の指定について 観光の振興と中心市街地の活性化を図るため、また今後の中心市街地の開発の推進を図るため、国際通りを観光振興地域に指定することについて、当局の見解と取り組み状況について伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

代表質問（１日目） 平成 16 年 9 月 6 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	屋 良 栄 作 (市民の会)	1 財政について 2 自治基本条例について 3 指定管理者の指定について	(1) ここ数年の経常収支比率が、どのように推移しているのか。また、その見解について伺う (2) ここ数年の地方債残高、いわゆる長期債務が、普通会計ベースでどれだけ増減したのか伺う (3) 翁長市政 4 年間ににおける財政改革上の成果を示すとともに、今後の課題、さらには決意を伺う (1) 住民参加と情報共有の 2 本柱で、北海道ニセコ町で自治基本条例(自治体の憲法とも称される)が制定されて久しい 本市としての現時点での住民参加、及び情報共有についての取り組みを述べるとともに、自治基本条例制定についての見解を伺う (2) 本市の広聴活動の現状について伺う 「跳び出せ市長室！」についての市民の反応はどうか。例えば、本市財政の厳しさを理解していただいているか (3) パブリックコメントの進捗状況はどうか伺う (1) 那覇市ぶんかテンプス館の指定管理者の共同企業体構成員に、市長の実兄が代表取締役を務めている企業が含まれているが、このようなケースの場合、地方自治法など法令上問題がないか (2) 指定管理者は、どのような方法で選定したのか。選定経過について伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 建設行政について	新最終処分場の建設については、那覇港管理組合が事業主体となって、工事発注が行われるとのことだが、必要な事業費を負担するのは本市と南風原町であるので、業者指名にあたっては両市町業者の優先指名をするべきと考える。当局の見解を伺う
		5 運転業務契約について	先の議会で問題となった市長公用車の運転業務契約問題は、その後どうなったか。那覇労働基準監督署からは、どのような回答があったのか伺う
		6 ご当地ナンバーについて	国の規制緩和により、一定要件を満たせば、自動車のナンバープレートに「地域名」を表示できるようになった。本市としての見解を伺う
		7 企業誘致について	現在の県立那覇病院が移転した際、その跡地利用について、企業誘致をしてはどうかと考えるが、当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、収入役、政策調整監、 関係部長

代表質問（１日目） 平成 16 年 9 月 6 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	崎 山 嗣 幸 (市民・社社 ネット)	1 新庁舎建設について 2 ぶんかテ ン プ ス 館 の 指 定 管 理 者 に つ い て	市長は、現庁舎(泉崎)が築 40 年近くなり老朽化が著しい中で、二極分散化の庁舎建設を公約としている 二極とは、中枢機能（総務・企画・議会）を新都心に移し、現庁舎(泉崎)は、10 億～20 億円かけてリニューアルして、教育委員会を集約するとこれまで述べてきている では、具体的に次のことを伺う (1) 二極分散型の庁舎建設の進捗と展望を伺う (2) 二極分散を決定した 5 つの理由は、今でも揺るぎないと確信するか伺う (3) 新庁舎建設候補地の塩漬け用地は、累積金利が膨らむ一方であり、その対処法は考えているか伺う これまで、公共施設の管理委託は、公共団体や公共的団体等に限られていたが、地方自治法改正により、株式会社含め民間参入が可能となる「指定管理者制度」が導入された それに伴い、那覇市では、初の指定管理者をぶんかテンプス館に導入するため、指定管理者が選定されている この指定管理者制度は、経費節減・効率性を最重点に民営化することとなり、もうけ追求の株式会社にまかせることは、住民サービス向上を目指す自治体の責任放棄とサービス切り捨て後退につながるといわれている また、雇用と労働条件も著しく不安定になり、市民サービスの低下が懸念されている さらに、住民監査請求や住民のチェック機能が失われることや、個人情報の保護も問題となっている

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			特に、首長、議員の身内や親族の指定管理者は、腐敗・不正の温床になるとして、大きな危惧が抱かれている では、次のことを伺う (1) 今回のぶんかテンプス館の指定管理者の中に、市長の身内、親族が役員になっているか伺う (2) 選定委員会は、透明性、公平性、不正防止の観点から、十分検討されたのか伺う
			【答弁を求める者】 市長

代表質問（１日目） 平成 16 年 9 月 6 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	中 村 昌 樹 (市民・社社 ネット)	1 議案第 69 号 那覇市ぶんか テンプス館の 指定管理者の 指定について 2 環境行政に ついて	(1) 指定管理者に応募した団体は、何団体あったのか (2) 選定の基準及び最終的な判断基準は何か (3) なぜ、書類審査集計 1 位、最終審査集計最高得点の団体が外され、書類審査集計 3 位、最終審査集計得点 2 位の団体に決定したのか (4) 決定団体の構成メンバー（株）国際ビル産業の代表取締役会長 翁長助裕氏は、市長とどのような関係にあるのか (5) この会社の主たる業務は、どのようなものか (6) 指定管理者委託予算は幾らか (7) そのうち、保守点検・清掃等の委託料は幾らで、どのように発注されるのか (8) 設置者としての市長、議員、その他親族が経営する民間事業者が排除される「兼業禁止規定」は、どのように配慮されたのか何う (1) 環境センター内ペットボトル等資源化システムは、今日どのような状況か (2) 焼却炉をめぐる受注業者旧 NKK の 5 億円脱税問題をめぐり、本土では、市民団体の刑事告発や訴訟問題が起き、真相究明が始まりつつある 先日、会派事務所に翁長雄志市長を名指しした「国民の目ネットワーク第 3 号」ビラが送られてきた。緊急告発「那覇市ごみ焼却炉工事で史上最大の汚職事件」と書かれているが、真相はどうか 【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

代表質問（１日目） 平成 16 年 9 月 6 日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	翁 長 俊 英 (公 明 党)	本議会に提案されている那覇市土地開発基金条例の一部を改正する条例並びに一般会計補正予算の先行取得用地の買い取り関係について	(1) この条例改正は、銘苅小学校用地と泊小学校及び安岡中学校運動場拡張用地を、土地開発公社から買い取る財源の一部に充てるため、これまで積み上げてきた基金を、今回初めて活用するわけであるが、これまでにできなかった理由、今回しなければならない理由を問う (2) 今回、土地開発公社から再取得する土地の内訳はどうなっているのか。それぞれの施設ごとの仮換地後の面積、取得した年度、取得価格、経過利息の額、公社への支払い手数料、分筆測量費、再取得価格、全体の合計について問う (3) 再取得の財源の多くを市債に依存しているが、他の選択はないのか。これによって平成 16 年度の市債発行額が大きく膨張するが、本市の公債費比率、起債制限比率を、どの程度押し上げることになるのか (4) 塩漬け用地の解消は、翁長市長の選挙公約でもあり、今回の買い取りで大きな前進となるが、残る先行用地の再取得について、どのような方針で臨むのか
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

代表質問（１日目） 平成16年9月6日(月)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	糸 数 昌 洋 (公 明 党)	1 9月補正予算について 2 女性行政について 3 福祉行政について	新都心小学校などの先行取得用地の買い戻しを行うことから、例年になく予算規模が大きくなった9月補正予算について、補正増となった以下の事業について伺う (1) 自治会活動育成事業の概要について (2) 地域新エネルギービジョン策定事業の概要について (3) 中心商店街賑わい広場整備事業の概要と事業効果について 那覇市政初の女性助役の登用をはじめ、翁長市政において、女性の活躍が目覚ましい。男女共同参画社会の実現に向けて、以下の点を伺う (1) 審議会等委員への女性登用率の推移について (2) 管理監督職(係長以上)に占める女性職員の割合の推移について (3) 男女共同参画社会の実現に向けて、市長の所見を伺う 翁長市長は就任後、市民にわかりやすく、きめ細かいサービスを提供するため、児童課や介護長寿課を改編し、「こども課」「ちゃーがんじゅう課」を新設するなど、厳しい財政事情の中で、福祉施策の充実に努めている (1) 福祉施策の主な対象である、「こども」「お年寄り」「障害者」に関連する福祉予算の推移と伸びの大きな事業について伺う (2) 末吉消防署の跡地利用について、福祉目的に活用するとのことだが、具体的にどんな計画が検討されているのか。経過と今後のスケジュールについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長